



長野県

屋代南高等学校

ファッションデザインコース

全国高等学校ファッションデザイン選手権大会

全国高等学校ファッションデザイン選手権大会は、今年で20周年の節目を迎えた伝統あるコンテストです。

足立蓮と岡澤琉和は、本コンテストに応募し、応募総数95校、2,248点のデザイン画の中から一次選考を通過し、最終選考会への出場を果たしました。

最終選考会に出場するのは、34作品。一次選考を通過したデザインを作品に仕上げ、8月22日、青森県弘前市で行われた、最終選考会に臨みました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、動画と作品による審査に切り替わり、リモートでの最終選考会となりました。

デザイン画



作品コンセプト

たくさん重ねた布は、人生で起きる度重なる試練を表現しています。

作品の全体イメージは、竹です。重たい雪をはねのけるしなやかな竹に、様々な試練を超えていく未来の私たちの姿を重ねて、表現しました。

製作風景

自然のもつ力強さや美しさを表現するため、ヨモギで天然繊維の生地を染めて用いました。ミョウバンと木酢酸銅を媒染材に用いて2色に染め、奥行きのある複雑な色合いを表現しています。

上衣、下衣ともに、複数のパーツを組み合わせ、立体的な作品に仕上げています。



最終審査会

弘前市の会場と出場校をリモートでつないで最終審査会が行われました。審査は、事前に送付した作品とウォーキング動画によって行われました。

ゲスト審査員特別賞(天津憂賞)をいただきました。

